

【耕畜連携】(島根県 農事組合法人 おおつか営農組合)

- 農事組合法人おおつか営農組合は、平成26年7月に設立。組合員数222戸、経営面積97.3haで、主食用米や大豆、露地野菜等のほか、飼料用米(34ha)、SGS※¹用稲(15.5ha)、WCS※²用稲(8.6ha)を生産(R2年現在)。
- 安来市畜産クラスター協議会における耕畜連携事業の中心的な経営体として、畜産クラスター事業を活用して平成29年度に稲SGS調製・保管施設を整備。早生多収品種への変更による収量向上や、適切な粉碎・加水・乳酸菌添加・混合処理によるサイレージ発酵の品質向上に努め、通年で地域の畜産農家(肉牛・乳牛)へ供給。また、利用畜産農家の堆肥をほ場へ散布することで、地域内の耕畜連携を推進。

※1 SGS: Soft Grain Silage 子実を破砕処理等しサイレージ化(乳酸発酵)した飼料
 ※2 WCS: Whole Crop Silage 茎葉と子実を一緒に収穫してサイレージに調整した飼料

稲SGS用米の栽培



【収穫・搬入】



【破碎】



【乳酸菌添加、加水】



【フレコンで2ヶ月間発酵
20kgバッグへ小分詰替】

※pH値4.2以下を維持

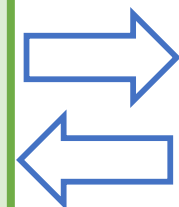


生粳の状態



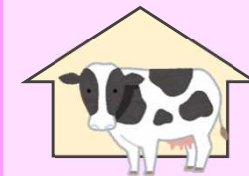
粉碎された状態

稲SGS販売



堆肥販売

畜産農家
約4戸



(農)おおつか営農組合
稲SGS栽培・製造

稲SGS調製
・保管施設



	H28	H29	H30	R1	R2
収穫量(粳)(t)	37.0	86.5	93.8	105.2	84.0
稲SGS生産量(t)	43.1	99.7	109.2	123.1	100.3
価格	フレコン(350kg):27円/kg、20kgバッグ:33円/kg(運搬費用は畜産側が負担)				

※作付品種:平成29年まで「みほひかり」、H30年以降「ゆめあおば」